

製品名: カスパーゼ-9 (13Z10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07987**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP9
別名	APAF-3; Caspase9; ICE-LAP6; Apoptotic protease Mch-6; CASP-9; Caspase-9; Caspase-9 precursor; MCH6; RNCASP9;
遺伝子 ID	842.0
SwissProt ID	P55211
免疫原	ヒトカスパーゼ9の合成ペプチド

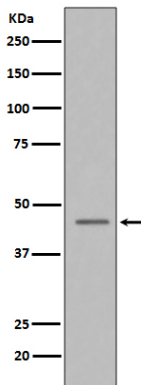
背景

カスパーゼ 9 (ICE-LAP6、Mch6) は、システインアスパラギン酸プロテアーゼ (カスパーゼ) ファミリーの重要なメンバーです。アポトーシス刺激を受けると、ミトコンドリアから放出されたシトクロム c は、47 kDa のプロカスパーゼ 9/Apaf-1 と結合します。Apaf-1 を介したカスパーゼ 9 の活性化は、内因性タンパク質分解処理に関与し、Asp315 の切断と p35 サブユニットの生成をもたらします。アポトーシスの実行を担うカスパーゼの活性化カスケードに関与しています。カスパーゼ 9 が Apaf-1 に結合すると、プロテアーゼが活性化され、その後、カスパーゼ 3 が切断・活性化されます。ABL1/c-Abl 依存的に、DNA 損傷誘導性アポトーシスを促進します。また、ポリ(ADP-リボース)ポリメラーゼ (PARP) をタンパク質分解的に切断します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



カンプトテシン処理した HeLa 細胞溶解物中のカスパーゼ 9 のウェスタン ブロット分析。